

## 国際化学肥料ニュース（2020年10月）

### 肥料業界の2020年10月動態

- \* 9月30日発表されたインド RCF 社の尿素国際入札は10月9日に締め切り、開札された。16社が応札し、応札数量376万トン。最低応札価格は CFR278 ドル/トンで、インド政府は契約数量150万トンの外貨予算を用意しているという噂がある。また、年内にもさらに1~2回の尿素国際入札を行い、今回を含めて380~390万トン尿素を輸入する見通しである。
- \* インド RCF 社の尿素入札では、最低応札価格が CFR 西海岸 279.94 ドル/トン、CFR 東海岸 279.25 ドル/トン、8月10日開札した前回の尿素入札より10ドル/トンほど低くなった。10月24日現在購入確定数量218.4万トン、そのうち中国産尿素約87万トンという。これにより、11月の国際尿素貿易量がほぼインドに収まる。
- \* トルクメニスタンからの報道によれば、2020年1~7月トルクメニスタンの化学肥料輸出量が73.4%増の70万トンに達し、中央アジア最大の化学肥料生産国と輸出国になった。2018年9月完成した生産能力115.5万トンの Kara-Bogaz 尿素工場が順調に稼働したことが最大の要因である。
- \* 主要国の塩化加里輸入輸出データ

国名	期間	輸入量(万トン)	輸出量(万トン)	増減率
中国	2020年1~8月	554		-18%
インド	2020年8月	53		
アメリカ	2020年1~6月	597		-5%
日本	2020年1~5月	12.1		-28%
ブラジル	2020年1~9月	824		-1%
カナダ	2020年1~6月		1079	3%
ベラルーシ	2020年8月		91.5	-7%

- \* 10月1~2週目の国際リン安市場はインドとブラジルの需要が下支えとなり、安定している、東半球では、インドが中国から CFR370 ドル/トンで5万トン DAP、サウジアラビアから CFR370 ドル/トンで5万トン DAP を購入し、10月下旬から11月上旬出港する。パキスタンは動きがないが、CFR370 ドル/トンの打診がある。  
西半球では、ブラジルはロシアから CFR365~370 ドル/トンで1万トン粒状 MAP、モロッコから同じ価格帯で4~5万トン粒状 MAP の輸入契約を締結した。また、アルゼ

ンチンでは DAP と粒状 MAP の CFR 価格が CFR380 ドル/トンで安定している。ロシアが CFR380 ドル/トンでペルーに DAP と粒状 MAP を 1 船、グアテマラも FOB380 ドル/トンで 1.3 万トン DAP を購入する。

- \* 中国税関の速報によれば、2020 年 9 月の化学肥料輸出量 285 万トン、その内訳は尿素 83 万トン、硫安 57 万トン、DAP20 万トン。1~9 月の化学肥料輸出量が 3.6%減の 1993 万トン、金額が 20.0%減の 45.29 億ドル。硫安輸出量が 14.5%増の 589 万トン、尿素輸出量が 9.5%減の 293 万トン、DAP 輸出量が 13.5%減の 417 万トン、MAP 輸出量が 6.7%減の 191 万トン。

一方、2020 年 9 月の化学肥料輸入量が 135 万トン、その内訳は塩化加里 119 万トン、NPK 化成肥料 13 万トン。1~9 月の化学肥料輸入量が 12.2%減の 816 万トン、金額が 23.2%減の 22.64 億ドル。塩化加里輸入量が 12.6%減の 673 万トン、NPK 化成肥料輸入量が 1.2%減の 107 万トン。

### 大手各社の営業業績

- \* ノルウェーの Yara 社は 2020 年第 3 四半期の業績を公表した。NPK 化成肥料の販売増とコスト削減の結果、営業利益が 22.3%増の 3 億 8400 万ドル、純利益は 359%増の 3 億 4000 万ドル。
- \* ロシアの PhosAgro 社は 2020 年第 3 四半期の業績を公表した。肥料生産量が 1.7%増の 250 万トン、その内訳は窒素肥料が 6.2%増の 56.3 万トン、りん酸系肥料（化成肥料を含む）が 0.5 増の 194 万トン。なお、1~9 月の肥料生産量 750 万トン。一方、肥料販売量が 9.9%増の 272 万トン、その内訳は窒素肥料販売量が 8.3%減の 47 万トン、りん酸系肥料（化成肥料を含む）販売量が 14.7%増の 225 万トン、特に化成肥料販売量の増加が目立つ。
- \* ヨルダンの APC 社は 2020 年 1~9 月の塩化加里生産量 196.6 万トン、販売量が 200.4 万トン、純利益 9500 万ディナール（約 1.34 億ドル）ともに新記録を樹立した。加里製品の輸出によりヨルダンに約 7.8 億ドルの外貨収入を貢献した。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* イギリスの Kore Potash 社はコンゴ政府から Dougou Extension 加里開発プロジェクトの調査掘削を許可した。当該プロジェクトは Sintoukola 盆地の Kola にある加里資源を採掘するもので、計 5 本の探鉱井戸を地下 400m まで掘削し、その正確な埋蔵量を調査するものである。2021 年 5 月に完了する予定である。当該プロジェクトは投資

額 2.86 億ドル、建設期間 21 ヶ月、完成後の年間加里生産能力は炭酸加里 (K<sub>2</sub>CO<sub>3</sub>) 換算で 40 万トンと計画される

- \* カナダに本社のある Botash Corp 社はブラジルアマゾン流域にある Autazes 加里鉱山プロジェクトのために 2020 年 11 月に 5000 万ドルの融資計画を実行する。Autazes 加里鉱山は 2025 年に年間生産能力 240 万トンの第 1 期工事を完成させる計画である。加里肥料の完全輸入に依存する状況を打破するためにブラジル政府はこのプロジェクトを支援する。
- \* 10 月 21 日、ロシアの Shekinoazot 社は Schyokino 窒素肥料プロジェクトの起工式を行った。当該プロジェクトはロシアの Tula 州 Schyokino 市にあり、設計生産能力はアンモニア 1500 トン/日、尿素 2000 トン/日。建設担当は中国化学集団である。

#### その他

- \* デンマークの Ørsted A/S 社はオランダに風力発電プロジェクトを計画し、その電力をノルウェーの Yara 社がオランダ Zeeland 州にある Sluiskil 工場のアンモニア合成プラントに供給する。Yara 社は Sluiskil 工場に 100MW の電解槽を増設し、風力発電の電力で水を電解した水素をアンモニア合成に使う。電気分解で得る水素は年間 7 万 5 千トンのアンモニアを生産することができる。当該プロジェクトは 2024~2025 年に完成し、運用が始まる予定である。
- \* Global Data 社のレポート「世界の尿素容量と設備投資の見通し、2020~2030」によれば、世界の尿素生産能力が 2019 年の 2 億 1821 万トンから 2030 年の 3 億 155 万トンに薬 38% 増加する見通しである。インド、イランとロシアがそれぞれ 1684 万トン、1530 万トンと 1204 万トンの新規生産能力の増加が見込まれ、この 3 か国だけで世界尿素新規増加生産能力の 50% を超える。
- \* アフリカ開発銀行はモロッコ OCP 社のアフリカ肥料貿易融資プログラム (AFFM) の信用保証に参加した。当該プログラムはコートジボワールとガーナ 2 国の 43 万人小規模農家を支援し、高品質の肥料と種子を投入して、ガーナではコメとトウモロコシの収量が 35% 増加し、コートジボワールではコメの収量が 30% 増加することが期待される。必要な資金 400 万ドルは OCP 社とアフリカ開発銀行が融資の保証を行うものである。
- \* イスラエルの ICL 社はブラジルの肥料と土壌・種子処理剤の製造販売会社 Fertilaqua 社を 1 億 2000 万ドルで買収する。Fertilaqua 社の販売網を活用して、化学肥料、有

機肥料、緩効性肥料、その他の特殊植物栄養製品のブラジル市場への販売を拡大することを期待する。2021年初頭に買収手続きを完了する予定である。

- \* スペインのイベルドロラ社とフェルティベリア社は協力して 2027 年までの 7 年間に 18 億ユーロを投資して、800MW の太陽光発電設備とその電力を利用してグリーン水素を生産する計画を発表した。その水素をアンモニア合成に使うことで、年間 39,000 トンの CO2 排出量を削減できるという。
- \* カナダ Guelph 大学環境学部の Claudia Wagner-Riddle 教授は作物の収穫量を犠牲にすることなく、肥料の窒素利用効率を改善し、脱窒による窒素の損失を最大 70%削減する研究により、2020 年度の IFA（国際肥料工業協会）のノーマンボーローグ賞を受賞した。